

2020年 11月 26日

報道機関 各位

国際放射線防護委員会（ICRP）が主催する原子力事故後の復興に 関する国際会議・記者会見について

国際放射線防護委員会（ICRP）は、東京電力福島第一原子力発電所事故から来年3月で10年になることにあわせ、12月1日から4日に「原子力事故後の復興に関する国際会議：福島およびこれまでの事故から学ぶ放射線防護の教訓」と題する国際会議をウェブ上で開催します。長崎大学は本会議の後援機関であり、原爆後障害医療研究所の高村昇教授およびジャック・ロシヤール教授（ICRP 副委員長）が企画担当者となっています。この会議では、原子力発電所の廃炉、環境影響、被災地への帰還、生活及び仕事、帰還困難区域における復興、被災地の将来、除染と廃棄物管理、健康調査、専門家と専門組織の役割、住民の役割といった様々なトピックについて、科学者のみならず、川内村の遠藤雄幸村長をはじめとする被災自治体の首長や復興に当たった役場関係者、あるいは被災した住民が発表する予定です。会議はすべてウェブ上で行われ、参加費は無料で登録制になっています。

会議終了後、12月4日の13時から14時半に主催者及び講演者が国内外の報道機関の方を対象に記者会見を行う予定にしています（日英同時通訳付き）。記者会見には高村教授、ロシヤール教授のほか、本学が復興推進拠点を設置している福島県川内村の遠藤雄幸村長も出席予定です。会議の詳細、参加登録、プログラム、および記者会見の申し込みについては会議のホームページを御参照ください。

記

（報道機関向け記者会見）

日時：令和2年12月4日（金） 13:00～14:30

場所：オンラインにて実施

詳細・申し込みについては下記 URL をご参照ください。

<https://www.icrp-recovery.org/about-jpn>

以上

御不明な点については、下記問い合わせ先に御連絡ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】原爆後障害医療研究所 教授 高村 昇

TEL: 095-819-7170; 携帯電話: 090-4989-0923; E-mail: takamura@nagasaki-u.ac.jp